

第24回大会プログラム

期日 2013年11月30日(土)

場所 東海大学高輪キャンパス

一般研究発表

- (1) 神経変性疾患脊髄空洞症の治療に関する一考察—バレエ・ダンス障害治療の応用研究—
里見悦郎 (ハルビン医科大学)
- (2) 無酸素性作業閾値 (AT) からみた「学校ダンス」の運動強度
永野順子 (文化学園大学)
安広美智子、岸田眞弓、井上文子、佐藤純、村岡佳与子、坂梨由里子 (聖徳大学)
原英喜 (國學院大学)
- (3) 「学校ダンス」が中高年女性の脊椎アライメントに及ぼす効果
安広美智子 (聖徳大学)、永野順子 (文化学園大学)
- (4) 女性によるスポーツ応援—都市対抗野球大会と東京六大学野球を比較して—
杉山未那美 (早稲田大学大学院)
- (5) 「フラ甲子園」優勝校から見るフラの学び
安住陽子 (東北大学大学院教育情報学研究部)
- (6) 「自立」を目指す育成—藤井公(1928-2008)・利子(1937-)を事例として—
杉山千鶴 (早稲田大学スポーツ科学学術院)
- (7) 身体と象徴：自然・社会・人体のリズムについての総合的研究—京都市大田神社の巫女神楽調査報告 その1—
木村はるみ (山梨大学大学院教育学研究科)
- (8) 「津田の盆(ほに)踊り」におけるぞめきリズムと手の動作
小林敦子 (明治大学情報コミュニケーション研究科)
- (9) カドリールの特徴—Ellis A. Rogersの文献を中心に—
井上文子 (聖徳大学)、岸田眞弓 (聖徳大学短期大学部)

シンポジウム

アジアの舞踊と身体文化

座長：村松香織 (東海大学 高輪教養教育センター)

1. 基調報告 「ヴェトナム・チャムの民族舞踊と林邑楽舞楽」 三田徳明 (学習院大学)

2. 特別企画 琉韓身体文化ワークショップⅡ—近代の舞踊にみる「手巾」の象徴性と技法—

1) 研究報告

① 沖縄の「雑踊り」にみる“手巾”の象徴性と技法

波照間永子 (明治大学情報コミュニケーション学部)

志田真木 (国指定重要無形文化財〈琉球舞踊〉伝承者)

② 韓国の新舞踊にみる〈スゴン〉の象徴性と技法

金采嫻 (韓南大校)、金怜姫 (韓国舞踊批評家協会)、田銀子 (成均館大校)

2) ワークショップ

司会・コーディネータ：波照間永子

(琉球舞踊：講師) 志田真木、(韓国舞踊：講師) 田銀子、金采嫻、成均館大校大学院生